

(別紙3)

文起第938号 - 1  
令和元年9月26日

(施設名) 米子市文化ホール  
(指定管理者) 一般財団法人 米子市文化財団  
(代表者名) 理事長 杉原 弘一郎 様

米子市長 伊木 隆司 ㊟

### 平成30年度「米子市文化ホール」指定管理者業務評価書

施設名	米子市文化ホール
施設所管課	経済部文化観光局文化振興課
指定管理者名	一般財団法人 米子市文化財団
指定期間	平成28年4月1日 ~ 令和3年3月31日 (3年目)

#### 【モニタリング終了後の総評】

##### 【施設所管課】

様々な広報活動により情報発信を行い事業周知に努め、利用者数が昨年を上回る高い水準であったことは評価できる。多くの自主事業が円滑に行われており、特に米子市音楽祭は60回記念としてメモリアルコンサートを開催し、米子市出身のピアニストをゲストに招き米子市近郊で音楽活動を行っているアーティストの共演機会を作るなど、音楽を通じて地域文化の向上に努めている点も評価できる。また、年々老朽化していく施設、設備の巡回点検を強化し、不具合に迅速に対処するなど、施設管理に対する取組も評価できる。

##### 【第三者評価】

- ① 施設について
- 老朽化した施設、設備の不具合への対応が来ている事は評価できるが、市の予算をつけて修繕を図ったと思います。
  - 稼働率が高い施設であり、米子駅から米子に入る入り口の施設なので早くきれいにしてもらいたいことを望みます。
  - 施設周辺の清掃活動や高校との協働作業などは評価できます。今後も、地域との交流や協働を意識した、利用者と一体となった施設運営が望まれます。
  - 中通路のイメージやトイレの洗浄機能付便座等、施設の老朽化が気になります。
  - 投影(映写)施設の充実を望みたい。
  - 老朽化については予算等もあるため、味わいのある建物としての生かし方を工夫することも一案だと考える。
  - 建物部分及び備品等、経年変化はつきものであるが、細やかに対処・改善をすすめていることがうかがえる。メインホール前室カーペットの張り替え、イベントホールや展示室の椅子・長机の溶接修理、メインホール照明の改修工事などに加え、施設周辺や歩道等のゴミ拾いや除草・剪定なども引き続き実施されている。今後も細やかな点検・対処をすすめて欲しい。

○米子高校から寄贈を受けた花苗を生徒たちと一緒に多目的広場のプランターへの植栽事業を引き続き実施されており、外部団体との連携の一環として大変意義深いと感じた。加えて利用者サービスとしても、受付案内をより迅速に行えるよう、引き続き臨時職員さんの1人増員など利用者の視点に立った努力や配慮が感じられた。

## ② 管理について

○適切に管理されていると思います。

○日々、毎月の点検での苦労はないでしょうか？イベント案内、ポスター掲示が多いので終了した物の撤去など大変だと思います。いつも職員の方が掲示をされているのを見かけます。

○周辺施設の多目的広場やスペースにプランターなどの花を植えて季節ごとに変えておられること、とても評価できます。多目的広場のプランターを高校生に描いてもらうのはとてもいいと思う。高校生が取り組んでいる様子を見かけるのも楽しい。

○今後も前庭空間の有効活用など、米子駅前の顔として、より一層の米子の顔づくりや安全性、親しみやすさを意識した管理を希望します。

○職員増員による接客対応の充実に期待しています。

○スタッフ等の対応の丁寧さには好評価を感じる。

○接客について個人の資質だけに頼ることのない組織的な改善が図られている。

○駅に近いことや目的に応じた活用がしやすいホールや会議室を備えた施設であることを生かした利用促進を期待する。

## ③ 事業について

○地元密着のイベントも多くあり充実していたように思います。

○米子市音楽祭の継続実施、地域との連携での事業の取り組み、また継続して行っている童謡を歌う会、鷲見三郎顕彰事業など地道な取り組みは評価できる。

○鑑賞事業の山陰歴史館の取り組みは、とても評価できる。今後も継続して行ってほしい。

○今後も、インターネットやSNS、マスコミを十分に活用し、幅広い情報発信、情報交換に努めてほしい。市民からアイデアを募るなど、前庭の積極的な活用を検討してほしい。

○身近に感じることでできる事業展開が行われている。芸術文化の発信はもとより、市民団体のイベントづくりや若年層の活躍を促進する事業を期待したい。

○多くの質の良い事業が実施されていると感じられた。映画や音楽などを中心に、米子の文化向上に資するものである。参加型事業も教育普及事業も貴重な取り組みであると感じた。特に、劇団四季による「魔法をすてたマジョリン」は市内某小学校の学習発表会でも6年生演技が行われるなど、教育現場に良い影響を与えていた。

○今年度も市民交流事業として「農と食のフェスタ?せいぶ」に参画し、多目的広場でのステージ発表他メインホールやイベントホールでの催し物にも参加、米子駅前周辺の活性化にも協力できたことは大変意義あることと感じられた。

**【今後の業務改善方策等の特記事項】**

**【施設所管課】**

利用者が使用しやすい中規模ホールで立地条件も良いことから、稼働率の高い施設であり、今後も引き続き利用者が安心して使用できるよう、適切な施設管理を継続していただきたい。自主事業については、引き続き幅広い市民のニーズを捉えながら内容を精査し、本市の芸術文化の振興に資するものとなるよう努めてほしい。

**【第三者評価】**

- 早急な改修をおこなってほしい。
- コンサートが始まる前、携帯電話の電源を切るか、マナーモードにしてくださいとの放送がありますが、私は電源を切るべきと、放送するべきと思う。
- 隣接するイオンやビッグ・シップ、駅前通り（宿泊施設・飲食施設）、または、中心市街地のもう一方の核である角盤町エリアとの連携による、中心市街地の面としての更なる積極的な展開、活用の検討が望まれます。
- 特になし
- 米子駅前という好立地「イオン」の駐車場の共用という利便性を生かし、メインホールと事務室側との間のオープンスペースなど、市公会堂とはまた異なった特色を持っている文化ホールである。今後も、その特色・特性を生かした事業等を行っていただきたい。
- ビッグシップ等との大イベントが重なった際、駐車場周辺が大渋滞となることがあった。主催者側にて早めの運転者連絡（プラカード等による渋滞連絡など）をアドバイスできると良いかもしれない。（運転者は別の駐車場を考えることができる…。）

## 平成30年度下期「米子市文化ホール」モニタリング評価表 [令和元年8月]

施設名	米子市文化ホール	
施設所管課	経済部文化観光局文化振興課	
指定管理者名	団体名	(一財)米子市文化財団
	所在地	米子市末広町293番地
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日	
選定方法	—公募・非公募	
施設の設置目的	米子市文化ホールは中規模ホールをという市民の声を元に市政60周年記念事業として平成3年に建設され、芸術文化の振興及び市民福祉の増進を図ることを目的としている。	
主な実施事業	鑑賞事業(優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供) 年間3回程度 参加型事業(多数の市民が参加できる芸術文化の発表の機会提供) 年間3回程度 教育普及事業(芸術文化に関する普及活動、情報提供) 年間3回程度	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
<b>I 履行の確認(60点)</b>			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1)管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がなされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	資料確認・現地確認 引き続き、スムーズな接客を行うため受付案内係を1名増員している。
(2)職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認 適宜研修が実施されている。
(3)利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	A	資料確認・現地確認 テレビ・ラジオ等メディアを使つての広報の他、3館のイベント情報誌 Feel をフルカラーで発行する等、わかりやすい情報提供が行われている。
2 利用者に関する業務			
(1)利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか ※1	A	資料確認 利用者数は前年を上回る高い水準であった。
(2)利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認・現地確認 自主事業についてはアンケート用紙が配布され、要望等の実現策を検討していた。
3 保守点検及び清掃等の業務			
(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認 適切に行なわれている。
(2)清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認 適切に行なわれている。
(3)保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認 適切に行なわれている
(4)修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認・聞き取り確認 職員が自前で行うなど適切に行なわれている。

4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	B	資料確認・現地確認 事業計画書に沿った自主事業が適切におこなわれている。
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	資料確認 適切に行なわれている。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	A	資料確認・現地確認 老朽化した施設、設備の不具合への迅速な対応や自主事業の充実等により、多くの市民が安心して利用できる環境を整えている。

## II サービスの質の評価（25点）

1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	資料確認 自主事業の際は、アンケートを配布、集計され、利用者の回答内容は概ね良好であった。
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	資料確認・聞き取り確認 引き続き施設周辺、歩道等のゴミ拾いや除草・剪定を行うとともに、寄贈を受けた花苗を学生とともに多目的広場のプランターに植えるなど周囲の環境整備に努めている。
3 運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	現地確認・聞き取り確認 利用者に対する対応について適切に行なわれている。
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	A	資料確認・現地確認 米子市音楽祭では60回記念のメモリアルコンサートを開催し、地域文化の向上に努めたほか、おでかけ事業では引き続き、まちジャズをえる・もーる一番街で実施するなど、中心市街地のにぎわいを創出することができ、地域の文化振興に寄与する内容であった。
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	資料確認・現地確認 ホールだけでなく、イベントホール、多目的広場等を活用した多様な事業を行い、芸術文化の振興及び市民福祉の増進を図るといった設置目的に即した管理内容であった。

## III サービスの安定性の評価（15点）

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか ※2	B	資料確認 妥当である
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※3	B	資料確認 妥当である
3 団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	B	資料確認 妥当である

<p>【総評（所管課評価）】</p> <p>様々な広報活動により情報発信を行い事業周知に努め、利用者数が昨年を上回る高い水準であったことは評価できる。</p> <p>多くの自主事業が円滑に行われており、特に米子市音楽祭は60回記念としてメモリアルコンサートを開催し、米子市出身のピアニストをゲストに招き米子市近郊で音楽活動を行っているアーティストの共演機会を作るなど、音楽を通じて地域文化の向上に努めている点も評価できる。</p> <p>また、年々老朽化していく施設、設備の巡回点検を強化し、不具合に迅速に対処するなど、施設管理に対する取組も評価できる。</p>	<p>合計点 (70) 点/ (100) 点 ×100= (70)</p> <p>平均点 (3.5) 点</p>
---	--

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A（優良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）

B（良好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は、評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔平成30年4～平成31年3月〕 A	前年度〔平成29年4～平成30年3月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	313	309	4、101.29%	
施設利用者数	140,994	113,401	27,593、124.33%	多目的広場、オープンスペースでのイベント実施による利用者増
施設稼働率	100%	100%	0、100.00%	
事業開催数	16	15	1、106.66%	

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔平成30年4～平成31年3月〕 A	前年度〔平成29年4～平成30年3月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
利用料収入	20,304,442	20,271,238	33,204、100.16%	
指定管理料	64,830,000	64,870,000	△40,000、99.93%	
事業収入	5,147,580	3,555,195	1,592,385、144.79%	メイン事業実施による入場料の増
補助金及び助成金	180,000	0	180,000、-	
その他	167,221	283,659	△116,438、58.95%	工事業者の光熱水費負担減による
合計	90,629,243	88,980,092	1,649,151、101.85%	

(2) 支出

項目	本年度〔平成30年4～平成31年3月〕 A	前年度〔平成29年4～平成30年3月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
人件費	37,182,079	36,221,753	960,326、102.65%	
委託料	19,975,231	19,975,590	△359、99.99%	
施設費	22,764,146	21,475,724	1,288,422、105.99%	
事業費	8,915,001	6,247,245	2,667,756、142.70%	メイン事業の実施による
合計	88,836,457	83,920,312	4,916,145、105.85%	

※3 経営状況分析指標

項目	本年度〔平成30年4～平成31年3月〕 A	前年度〔平成29年4～平成30年3月〕 B	対比 A-B、A/B	備考
① 事業収支	1,792,786	5,059,780	△3,266,994、 - %	
② 利用料金比率	22.40%	22.78%	△0.38%、 98.33%	
③ 人件費比率	41.85%	43.16%	△1.31%、 96.96%	
④ 外部委託費比率	22.48%	23.80%	△1.32%、 94.45%	
⑤利用者当たり管理コスト	630	740	△110、 85.13%	
⑥利用者当たり自治体負担コスト	459	572	△113、 80.24%	

①事業収支：(収入－支出)

事業全体が黒字で施設の管理運営ができていのかどうかを確認する。赤字の場合は、管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

②利用料金比率：(利用料金収入/収入)

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

③人件費比率：(人件費/支出)

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎていないか、又は費用がわかりすぎていないかを確認する。

④外部委託比率：(外部委託費合計/支出)

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

⑤利用者当たり管理コスト：(支出/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

⑥利用者当たり自治体負担コスト：(指定管理料/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

※4 団体等の経営状況（年度ごと下期に実施し、上期では行いません。）

項目	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	備考
①自己資本比率	44.1	57.7	51.0	55.1	44.9	
②流動比率	182.1	304.5	238.4	281.4	191.7	
③固定長期適合率	15.5	15.3	15.9	15.6	11.2	
④総資産経常利益率	-1.8	-6.5	7.6	2.3	4.4	
評価	(以上の指標を参考に評価する。)					

※貸借対照表と損益計算書を基に計算する。太枠内に今年度の数値を記載し、左側に過去4年分を記載する。

①自己資本比率

総資産（資産合計）に占める自己資本（純資産合計）の割合を示した指標。どれだけ借金に頼らず経営をしているかを示す。比率が高いほど借金（負債合計）に頼る割合が低く、経営が安定していることを示す。一般的には、70%以上なら理想企業、40%以上なら倒産しにくいとされている。

$$\text{自己資本比率 (\%)} = \text{自己資本} \div \text{総資産} \times 100 \quad \text{【例】 } 800 \div 2,000 \times 100 = 40.0\%$$

②流動比率

団体の短期的な支払能力を示す指標。1年以内に現金化できる試算を「流動資産」、1年以内に支払を要する負債を「流動負債」といい、「すぐに準備できるお金」と「すぐに返さないといけないお金」のバランスを比較する。流動資産（すぐに準備できるお金）の方が多いほど、支払能力が高いことを示す。100%以上であれば問題ない。100%未満であれば資金繰りが苦しいとされる。

$$\text{流動比率 (\%)} = \text{流動資産} \div \text{流動負債} \times 100 \quad \text{【例】 } 1,100 \div 700 \times 100 = 157.1\%$$

③固定長期適合率

固定資産をどの程度、自己資本（純資産合計）と固定負債で賄っているかを示す指標。土地や建物など、この先1年以上換金できない、又は換金しない固定資産を返済義務のない自前の資金である自己資本（純資産合計）と長期で調達したお金（固定負債）でどれだけ賄えるかを見る。100%未満であれば問題ないが、100%以上の場合は固定資産の維持調達について流動負債にも依存していることを示すことから、

資金繰りが苦しいと考えられるとされる。

$$\text{固定長期適合率 (\%)} = \frac{\text{固定資産}}{\text{固定負債} + \text{自己資本}} \times 100 \quad \text{【例】 } 900 \div (500 + 800) \times 100 = 69.2\%$$

④総資本経常利益率

団体の総合的な収益力を示す指標。団体の総資産（資産合計）に対して、どれだけの経常利益を稼ぎ出しているかを示す。比率が高いほど資本を効率的に運用し、収益を上げている。

$$\text{総資本経常利益率} = \frac{\text{経常利益}}{\text{総資産}} \times 100 \quad \text{【例】 } 200 \div 2,000 \times 100 = 10.0\%$$

■貸借対照表（例）

【資産の部】	【負債の部】
流動資産	流動負債
現金及び預金 400	買掛金 400
受取手形 500	短期借入金 300
有価証券 200	流動負債合計 700
流動資産合計 1,100	固定負債
固定資産	社債 300
建物及び構築物 200	退職給付引当金 200
土地 500	固定負債合計 500
投資有価証券 200	負債合計 1,200
固定資産合計 900	【純資産の部】
	資本金 600
	利益剰余金 200
	純資産合計 800
資産合計 2,000	負債純資産合計 2,000

■損益計算書（例）

売上高	3,000
売上原価	1,200
売上総利益	1,800
販売費及び一般管理費	1,200
広告	700
人件費	500
営業利益	600
営業外収益	200
受取利息	200
その他	0
営業外費用	600
支払利息	200
社債利息	0
経常利益	200
特別利益	100
外国為替	100
特別損失	50
固定資産売却損	50
税引前当期純利益	250
法人税・住民税等	50
当期純利益	200

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

貸館利用主催団体が違法活動しないようにとの申し入れに応え、巡回点検数を増やして対応。  
ピクシブ前駐車場ゲートが開かないとの苦情を受け、現場に駆け付けゲートを開けるとともに交通整理をして対応。

6 利用者アンケートの結果

自主事業について概ね事業を支持する良好な結果であった。